

麻生リハビリ総合病院だより



2024年 ご挨拶

総生会理念 常に最善を飽くことなく追求し 質の高い安心の医療を提供する

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は地域の皆様には多大なるご支援、ご協力を賜りまして誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症がようやく5類扱いとなり、院内でも様々な活動を再開することができました。その中でも、当院開院以来はじめて「ユマニチュード」への取り組みを開始致しました。「ユマニチュード」とは「人間らしさを取り戻す」という意味をもつ造語で、フランス人が開発したケアの技法と哲学です。4つの柱(見る、話す、触れる、立つ)によって大切に思っていることを相手にわかるように伝えることができます。世界人権宣言第1条では「すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である。人間は、理性と良心とを授けられており、互いに同胞の精神をもって行動しなければならない」とされています。当院には身体的に弱っている、認知機能が低下している患者様がおり、今後日本では高齢化に伴って、このような患者様がますます増えていくと予想されます。今後も4つの柱の技術・習得に向けて、研修・実践を繰り返し行い、職員の習熟度向上において取り組んでまいります。

また、昨年10月に、当院は開院22年目を迎えることができました。これも地域住民の方々、近隣の急性期病院やクリニック、介護保険事業所、療養型病院などのご支援があったからこそ実現できたと思われまます。本当に、感謝申し上げます。

今後も川崎市で最大の病床数を有する回復期リハビリテーション病院として、質の高い医療・リハビリテーションをご提供できますように、専門職で構成されたチーム医療を実践・継続することがますます重要と考えております。また川崎市の公的な地域リハビリテーション支援拠点施設として、地域の皆様に必要なリハビリテーションをご提供できますように、これからも支援に取り組んでまいります。



最後に、当法人は6つの事業所(麻生総合病院、麻生リハビリ総合病院、訪問看護ステーション、居宅介護支援センター、ロイヤルホーム(有料老人ホーム)、健診センター)より成り立っております。今後も全事業所で協力・連携をさらに強化し、地域住民の方々には質の高い医療・介護・リハビリテーションなどをご提供できまよう、邁進してまいります。

皆様方に幸多い年になりますよう祈念しまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。今年もあたたかいご支援とご助言を心よりお願い申し上げます。

麻生リハビリ総合病院 病院長 菅 直樹

診療実績のご報告

[直近6ヶ月(2023年4月~2023年9月)の診療実績報告です]

在宅復帰率(退院先内訳)

退院先	2023年4月~2023年9月	
	人数	割合
在宅	304人	69.4%
特別養護老人ホーム	11人	2.5%
有料老人ホーム	32人	7.3%
介護医療院	0人	0.0%
グループホーム 高齢者向け住宅	15人	3.4%
慢性期病院	11人	2.5%
介護老人保健施設	51人	11.6%
その他	14人	3.2%
合計	438人	100.0%
一般病棟への転院	24人	5.5%
在宅復帰 合計	362人	82.6%

その他: 他科への転棟(一般病棟除く)など

回復期リハビリテーション病棟入院料Iの実績要件		当院の診療実績
リハビリテーション実績指数	40以上	51.9
自宅等に退院する割合	70%以上	82.6%
重症患者の割合	40%以上	43.6%
退院時の日常生活機能評価(FIM16点)以上改善割合	30%以上	72.6%

当院の診療実績は、すべての項目で施設基準を上回り高い水準となっております。今後も、患者様に質の高い医療・リハビリテーションをご提供できますよう取り組んでまいります。



あさお区民まつり



2023年10月8日(日)に『第41回あさお区民まつり』が新百合ヶ丘駅周辺で開催されました。当院では麻生総合病院と合同で、理学療法士によるフレイル※1 やロコモティブシンドローム※2 を予防するための検査やレクチャーを行うブースを設置し、たくさんの方にご好評いただきました。麻生区は長寿日本一になったこともあり、地域の皆様の健康意識の高さを感じました。

当院はこれからも地域の方々の健康を応援してまいります。



筋肉量・脂肪量等の
体組成をはかっています



※1 フレイルとは

病気ではないが年齢とともに筋力や心身の活力が低下し、健康と要介護の間の虚弱的な状態をいいます。

※2 ロコモティブシンドロームとは

加齢に伴う筋力の低下や関節や脊椎の病気、骨粗しょう症などにより運動器の機能が衰えて、立ったり歩いたりするための身体能力が低下した状態をいいます



禅寺丸柿まつり



禅寺丸柿は小ぶりで甘く、
種が大きいのが特徴です！



当院は毎年参加させていただいておりますが、今年は当法人の『危機管理部 救急班』の医師を中心に、心肺停止または呼吸停止に対する一次救命処置であるBLS (Basic Life Support) 講習会を行いました。講習会には多数の方にご参加いただき、また、小さなお子様には風船を配り大変好評なイベントとなりました。

今後も地域のイベントには積極的に参加させていただき、皆様のお役に立てる病院を目指してまいります。



BLS 講習会





令和5年度 テロ災害対応合同訓練



2023年10月15日(日)、隣接する麻生総合病院にて、麻生警察署・麻生消防署・麻生消防団・麻生区役所・川崎市消防局航空隊等による『令和5年度テロ災害対応合同訓練』が行われました。過去のテロ災害を教訓にした実践的な総合訓練であり、各機関の連携体制の充実を強化し、安全確実に迅速な人命救助活動能力の向上を図ることを目的としております。

当法人からは『危機管理部 災害班』のメンバーが訓練に参加し、負傷者役等を通して、緊迫した現場の状況を疑似体験させていただきました。

当日は、降りしきる雨に加え気温も低く**“災害は時を選ばない”**ということを痛感した1日となりました。



警察・消防各車両が勢ぞろい



車が突入と同時に訓練スタート



犯人役演技は迫力満点！



負傷者の確認・搬出



野外にて救助活動



トリアージエリア



迅速な判断が求められます



最後に菅院長よりご挨拶

トリアージエリアで救護を担う救急隊は、年々出場件数が増加しており、令和4年中は過去最多の約8万5000件にも及んだそうです。時間になると約6分に1件の出場となります。川崎市内には29隊の救急隊が配備され、救急需要に対応いただいています。地域の限りある医療資源であることを忘れず、適正な利用を心がけましょう。

職員紹介

永年勤続職員インタビュー 地域医療支援課 課長 谷口 英伸

回復期リハビリテーション病棟の制度ができて間もない2001年、麻生リハビリ総合病院は開院しました。リハビリ病院としては歴史の長い当院ですが、実は開院前から、当法人に勤務している職員がいます。長年、麻生総合病院と麻生リハビリ総合病院でソーシャルワーカーとして活躍し、現在は地域医療支援課の課長として病院を支える職員に話を聞きました。

Q、「仕事のやりがいは何ですか？」

患者様・ご家族様から「**ありがとう**」という感謝の言葉をいただく事。「**笑顔**」で退院される姿を見ると、当院に入院していただけて良かったと実感します。

Q、「長年勤務してきた中で、最も印象に残っていることは？」

10年以上前に、ソーシャルワーカーとして交通事故で片足を切断された若い患者様を担当しました。先日、その患者様から連絡があり、現在タクシー運転手として働いていることを知りました。とても嬉しかったです。**彼も頑張っているから、自分も頑張らなければと改めて思いました。**

Q、「仕事を頑張った時の自分へのご褒美は？」

趣味が車と、エレキギターを弾く事ですが、さすがにご褒美で「**車を買う!ギターを買う!**」という訳にはいかないので、**スタバでアイスコーヒーに蜂蜜4周分入れてもらっています。**

Q、「子供のころの将来の夢は？」

幼稚園の文集より「**おまわりさんになります。パトカーに悪い人を乗せます。**」



Q、「当院の良いところは？」

開院当初から、営業で様々な病院へ行っていますが、当院のように**職員が皆明るく挨拶をする病院**は意外と少ないです。

患者様・ご家族のみならず、他院の職員の方からもよくお褒めの言葉をいただきます。当院を選ぶ決め手にもなっているようです。

Q、「好きな言葉は？」

強くなければ生きていけない。優しくなければ生きていく資格がない。



「当院の魅力を発掘調査」～職員アンケートからみえたもの～

Part 2

2023年7月に「当院のここが素晴らしい!」をテーマに広報委員会アンケート調査を実施しました。今回は当院職員が思う自慢の施設、設備をご紹介します。

リハビリテーション機器や設備が充実している



デジリハ

バイタルスティム

ウェルウォーク
WW-2000



ADL室



ドライビングシミュレーター



ジェントルスティム



低周波治療器 IVES

広いリハビリテーション室



自主トレルーム



アームサポート MOMO

1階ロビーが広い



開院から22年間、広くて明るいロビーで患者様をお迎えしています。「ホテルみたい!」というコメントもありました。

廊下が明るい

各病棟に吹き抜けの窓があるため、自然光が差し込み、とても明るく気持ちが良いです。



3階・4階からの景色



秋・冬は空気が澄んで、特にきれいな夕焼けを眺めることができます。

3階のラウンジや4階会議室からの開放的な景観は当院の自慢ポイントとして複数回答がありました。



正面玄関前に車を寄せやすい



屋根があるので、雨でも快適に乗降車ができます!

シャトルバスが運行している

新百合ヶ丘駅行き



柿生駅行き

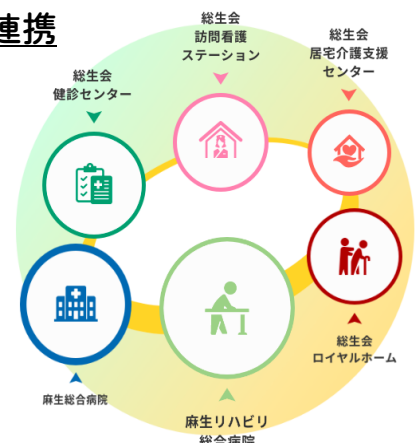


この場所に停車します。



法人内6事業所の連携

総生会には6事業所(麻生リハビリ総合病院、麻生総合病院、訪問看護ステーション、居宅介護支援センター、ロイヤルホーム(有料老人ホーム)、健診センター)があり、当院と隣接する急性期病院をはじめ、法人内で連携していると、これも自慢の一つです!



ホームページリニューアルのお知らせ

2023年10月31日に当院ホームページをリニューアルいたしました! 下記QRコードまたは麻生リハビリ総合病院でご検索ください。

麻生リハビリ総合病院

検索



発行:医療法人社団 総生会 麻生リハビリ総合病院
〒215-0021 神奈川県川崎市麻生区上麻生 6-23-50
TEL (044)981-6878 / FAX (044)981-6871



第14号 院外広報誌
発行日:2024年1月1日
発行者:広報委員会

